



南三陸町長 佐藤 仁

新春を迎えて

「活力ある『南三陸町』の実現に向けて」

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい新春をお健やかに迎えのこととお慶びを申し上げます。

また、日頃から町政運営の各般にわたり、温かいご理解とご協力を賜っておりますことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。

皆様ご承知のとおり、町では、平成17年10月1日に誕生した「南三陸町」が、昨年の秋に、5周年の節目を迎えたことを記念して、「南三陸町民憲章」を制定いたしました。

町民憲章には、本町の豊かな自然と人々の絆を大切にし、希望にあふれる未来を拓いていこうという思いが込められております。

本年は、この町民憲章の制定を契機として、これまでも増して、一体感の醸成や活力ある南三陸町の実現に取り組んでいく考えであります。

合併協議会において策定した「新町建設計画」も、この5年の間で、入谷小学校校舎や歌津公民館、そして、南さんりく斎苑の建替えなどの大きな事業は、ほぼ完了し、新年度には、懸案となっておりました志津川保育所の建替えを含む子育て支援拠点施設の建設に着手する予定であり、ほぼ順調に計画の具現化が図られてきております。

しかし、その一方で、少子高齢化の進行への対策や農林水産業の振興発展、さらには、デフレ経済下における地域経済の活性化など、未だ取

り組むべき課題が山積していることもまた現実であり、これらの課題を解決するためにも、総合計画に掲げた3つの先導的プロジェクト（『南三陸ブランドの構築』『安全・安心実感のまちづくり』『協働のまちづくり』）の推進が大変重要であると認識をいたしておりますので、町民皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

以上、年頭に当たりまして、町政運営に対する決意の一端を申し上げますとともに、夢と希望に輝く平成23年が、町民皆様にとりまして、より良い年となりますことを心から祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。



南三陸町議会議長 佐藤 栄

住民とともに飛躍の一年に

新年明けましておめでとうございます。町民皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、旧年中は町政の推進と議会活動に対し温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年10月に「議実行財政改革に関する特別委員会」が主催し、議会の基本である「議会と住民との懇談会」を開催いたしました。初めての試みであり、役割分担、事前研修など真剣に取り組み、議会が一九となって対応し、4会場で町民約100名の方に出席していただきました。議会を町民に理解いただくとともに、町づくりや議会への要望、提言など活発

な質疑応答がありました。真に実のある懇談会であり、確かな一歩を踏み出したと感じております。今後、町民と議会が話し合いを通じて理解を深め、住み良い町づくりに努めて参る所存であります。

さて、昨年2月の「チリ中部沿岸地震に伴う津波」では、水産業を営む漁業者に甚大な被害をもたらしました。国の激甚災害指定になったものの、精神的、経済的なダメージは計り知れないものがあります。

また、社会経済情勢においても、政権が不安定で将来が見通せない現状にあります。長引く景気低迷により地域経済は冷え込み、私たちの生活にも影響を与え、地域経済は引き続き厳しさを増しております。

明るく希望に満ちた新年を迎え、安心して安全に暮らせる町づくりのために、町政の一翼を担う議会として円滑な議会運営と活性化を目指し、本町の発展と町民の福祉の向上のため、執行部と議会が町政推進の両輪になって取り組んでまいります。

今後とも、町議会に対する更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、平成23年が町民皆様にとりまして、より良い年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。